

地域の学校紹介

埼玉県立高等看護学院

埼玉県で唯一の県立の看護専門学校が熊谷の埼玉県立循環器・呼吸器病センターの隣にあることをご存じですか？

Q 埼玉県立高等看護学院とは？

埼玉県立高等看護学院は、県内の保健医療・福祉施設や地域住民のニーズに応じた質の高い看護を実践できる看護師を育成することを責務としています。

高齢者割合が急増し、在宅療養者が増えた現代、患者をより個別的に、より総合的に捉えることが求められています。そのような時代、看護師は「医療」や「生活」の両視点から対象を専門的に捉え、チーム医療のキーパーソンとなる重要な役割を果たしています。

当校の教育は、生命の尊厳と高い倫理観を基盤に豊かな人間性を養い、看護の対象に対する深い理解と共感を持つことのできる専門職業人を育成することを理念としています。そして、科学的根拠に基づいた知識・技術を用い、対象にとって最適な健康状態を目指し支援できる基礎的な看護実践能力を育成します。

Q 学習支援について教えてください。

教員の臨床経験を活かしたきめ細やかな指導・支援が特徴です。また、学年ごとに複数担当制をとり、個別面接や学習支援を行っています。

臨地実習では、1グループ(5名)に対して1名の教員が必ず担当し、実習指導者と連携を図



りながら実習指導を行っています。3年次には、ゼミ担当制による看護研究や国家試験対策など、より学生個々に合わせた支援を行っています。

また、令和6年度入学生から電子教科書を導入し、情報収集の効率がより良くなりました。

Q 令和4年度から実施しているという多職種連携教育とは？

看護職の就業場所は医療機関に限らず、在宅や施設等へ広がっています。多様な場において多職種と連携して、対象の多様性・複雑性に対応した看護を創造できる能力を育成するために、社会福祉士や、理学療法士の養成を行う2校(他校)と協働し多職種連携教育プログラムを実施しています。

Q 過去10年間の看護師国家試験合格率は97.6%とのことですが、どのような国家試験対策を実施していますか？

1年次より国家試験の概要説明を行い、模擬試験などを早期から実施しています。さらに、ICTを用いた合格支援プログラムを導入しています。

3年間、学生の課題や成長に寄り添い、学生・教員が一丸となって全員合格を目指しています。

Q NAOZANE読者の皆さん、また看護職を目指す方へメッセージををお願いします！

当校は埼玉県で唯一の県立の看護専門学校であり、高等看護学院としての歴史は51年目を迎え、4,000人以上の卒業生を輩出してきました。卒業生たちは

今も様々な場所で活躍しています。この伝統が就職や進学の指定校推薦へとつながり、学生たちの望む進路の後押しの一助となっています。また、学費が低く抑えられるため、無理なく学習することができます。

看護師になるにはいくつかの道があり、それぞれの魅力があります。是非、学校説明会などで、伝統ある埼玉県立高等看護学院の、その魅力を体感してみてください。

School Information Session

学校説明会情報

日時/8月18日(日)・19日(月)

時間/①10:00~ ②14:00~
(1日2回、受付30分前~)

対象/受験を考えている高校生や社会人、その付き添いの方

参加人数/各回30組1組3名まで

申込/下記二次元コードより
電子申請



School Data



埼玉県立高等看護学院

熊谷市板井1696-5 ☎048-536-1916



課程/医療専門課程(3年課程)看護学科 定員/1学年80名

ホームページ・学校案内・募集要項

<https://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/b0715/index.html>



Student Voice



岩片 歩希さん(1年)

入学から3ヶ月、特に印象に残っているのは全学年が集まる「ピアグループ活動」です。不安に感じていたテストや勉強の仕方について、先輩方に質問することができました。先生方は些細なことも褒めてくれて、毎日新しい看護技術が身につくことがモチベーションに繋がっています。仲間と協力しあえる雰囲気もあり、頑張っている学校に入学して、本当に良かったです。

先生方は些細なことも褒めてくれて、毎日新しい看護技術が身につくことがモチベーションに繋がっています。仲間と協力しあえる雰囲気もあり、頑張っている学校に入学して、本当に良かったです。



岩間 陽斗さん(2年)

兄がこの学校の卒業生で、看護師の両親と兄の薦めがあり入学しました。家族の影響もあり目指した看護の道でしたが、実際の実習現場では患者さんの状態が日々変化する、看護

の仕事のやりがいと責任を感じました。授業では認定看護師による講義も多く、第一線で実践されている看護について学ぶことができます。



安野 由希さん(2年)

私は社会人で家族がいる為、県立で経済的に負担が少なく、実習先が多岐にわたる県内の様々な病院を体験することができるこの学校を選びました。学生生活にブランクがある

ことが不安でしたが、社会人やママさんの学生もいて通いやすい環境です。以前は看護助手の仕事をしていましたが、日々の授業で知識と理解が深まり楽しいです。